

Indicators Update

2013年11月29日 全4頁

10月雇用統計

建設業の就業者数が3ヶ月連続で増加

経済調査部
エコノミスト 久後 翔太郎

[要約]

- 2013年10月の完全失業率(季節調整値)は4.0%となり、前月と同水準であった。失業者数は前月から3万人の増加、非労働力人口は同16万人の減少となった。就業者数は前月から8万人増加した。10月の有効求人倍率(季節調整値)は0.98倍と前月から0.03pt上昇した。内訳を見ると、有効求職者数は2ヶ月ぶりに前月から減少、有効求人数は13ヶ月連続の増加となった。有効求人倍率に先行する新規求人倍率は1.59倍となり、前月から0.09pt上昇した。内訳を見ると、新規求人数は2ヶ月連続の増加、新規求職申込件数は2ヶ月ぶりの減少となった。
- 就業者数(季節調整値)は、前月差+8万人と2ヶ月連続の増加となった。内訳を見ると、「建設業」では前月差+5万人と3ヶ月連続の増加となった。「宿泊業、飲食サービス業」は前月差+11万人、「教育、学習支援業」は同+6万人、「運輸業、郵便業」は同+5万人となった。
- 先行きについて、就業者数は増加が続く見込みである。「製造業」については、増加基調となっている生産の影響を受けて、就業者数が増加すると予想している。また、高齢者の増加に伴い、労働需要の高まっている「医療、福祉」についても、就業者数の増加が見込まれる。

図表1：雇用関連指標の推移

		2013年				出所
		7月	8月	9月	10月	総務省
完全失業率(季節調整値)	%	3.8	4.1	4.0	4.0	厚生労働省
有効求人倍率(季節調整値)	倍	0.94	0.95	0.95	0.98	
新規求人倍率(季節調整値)	倍	1.46	1.47	1.50	1.59	
名目賃金指数	現金給与総額	前年比、%	▲0.1	▲0.9	▲0.2	厚生労働省
	所定内給与	前年比、%	▲0.9	▲0.6	▲0.6	
労働時間指数	総労働時間	前年比、%	0.3	▲0.5	▲0.8	
	所定内労働時間	前年比、%	0.0	▲0.8	▲1.2	
	所定外労働時間	前年比、%	3.9	4.0	3.9	

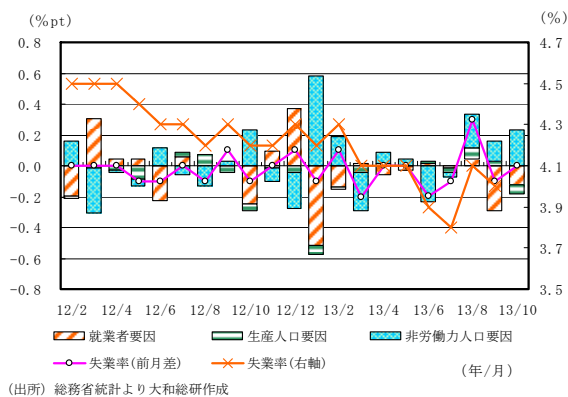
(出所)各種統計より大和総研作成

10月完全失業率：前月と同水準

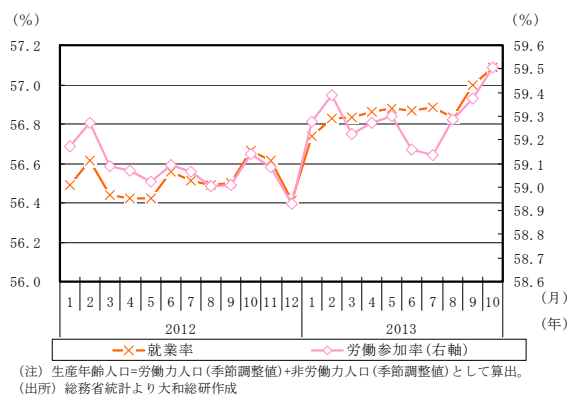
2013年10月の完全失業率(季節調整値)は4.0%となり、前月と同水準であった。失業者数は前月から3万人の増加、非労働力人口は同16万人の減少となった。就業者数は前月から8万人増加した。

失業率の前月からの変動を要因分解すると、前月に続き非労働力人口の減少が失業率の悪化要因となる一方で、就業者数の増加が失業率の改善圧力となっている(図表2)。就業者数や労働参加率が前月から上昇していることを考慮すると、失業率の水準は前月と同水準であったが、内容としては前月より改善している(図表3)。

図表2：失業率の要因分解



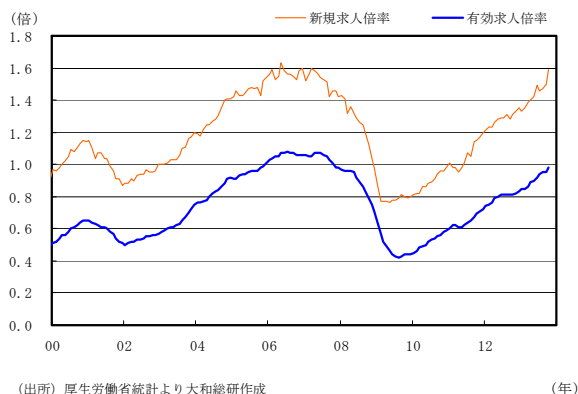
図表3：労働参加率と就業率



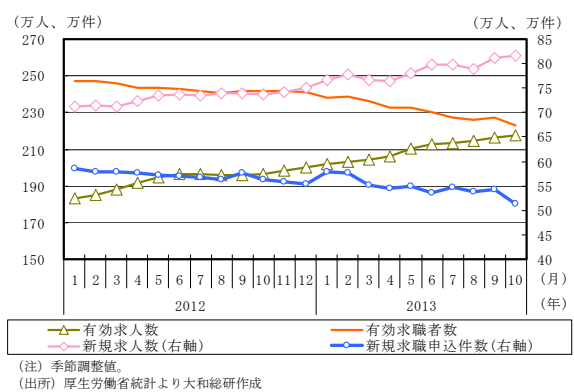
10月有効求人倍率：前月から0.03pt上昇

10月の有効求人倍率(季節調整値)は0.98倍と前月から0.03pt上昇した。内訳を見ると、有効求職者数は2ヶ月ぶりに前月から減少、有効求人数は13ヶ月連続の増加となった。有効求人倍率に先行する新規求人倍率は1.59倍となり、前月から0.09pt上昇した。内訳を見ると、新規求人数は2ヶ月連続の増加、新規求職申込件数は2ヶ月ぶりの減少となった。

図表4：有効求人倍率と新規求人倍率



図表5：有効求人倍率と新規求人倍率の内訳

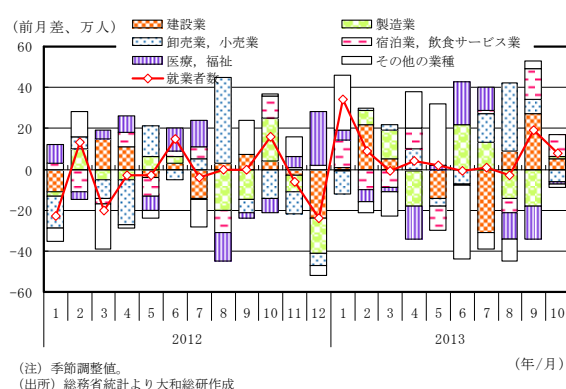


業種別の動向：建設業の就業者数が3ヶ月連続で増加

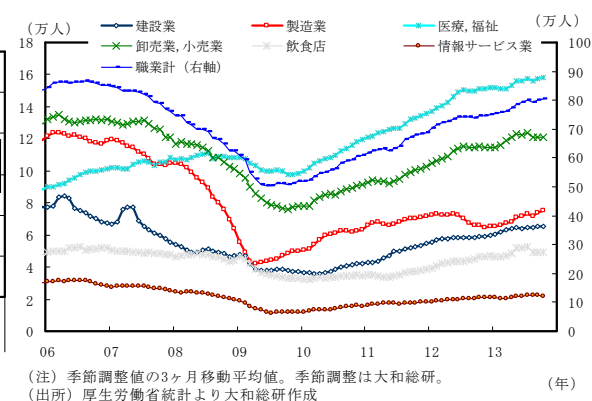
就業者数(季節調整値)は、前月差+8万人と2ヶ月連続の増加となった。内訳を見ると、「建設業」では前月差+5万人と3ヶ月連続の増加となった。公共投資予算の執行が進んでいることや、消費税増税前の駆け込み需要による住宅の建設数の増加により、建設業での労働需要が増加した。「宿泊業、飲食サービス業」は前月差+11万人、「教育、学習支援業」は同+6万人、「運輸業、郵便業」は同+5万人であった。

一方、「卸売業、小売業」では前月差▲6万人と、4ヶ月ぶりの減少となった。趨勢的に就業者数の増加が続く「医療、福祉」では、前月差▲1万人と3ヶ月連続で減少した。

図表6：業種別就業者数



図表7：業種別新規求人数



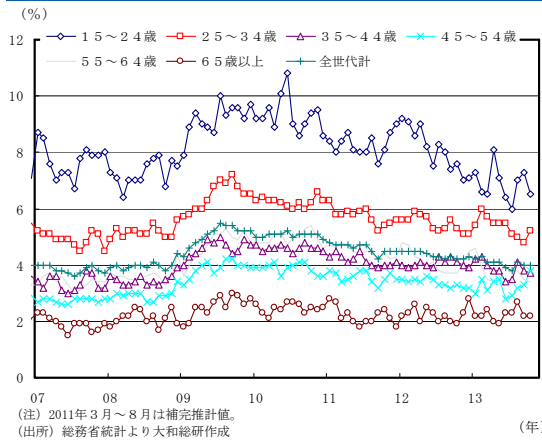
雇用情勢は改善が続く見込み

10月の雇用関連統計を総じて見ると、雇用情勢は改善が続いている。新規求人数、有効求人数とも増加しており、企業の採用意欲は高まっていることが確認できる。また、横ばい圏での推移が続いていた就業者数は2ヶ月連続で増加しており、総じて良好な内容であった。

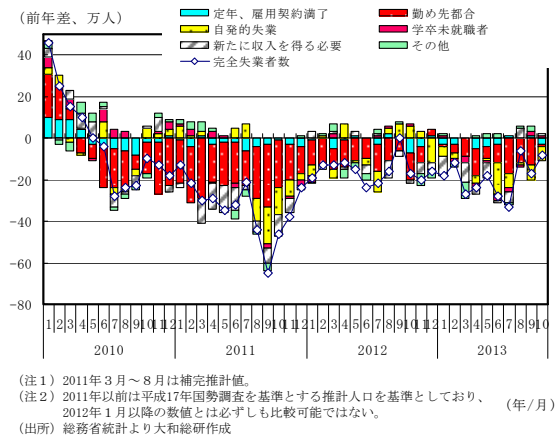
先行きについて、就業者数は増加が続く見込みである。「製造業」については、増加基調となっている生産の影響を受けて、就業者数が増加すると予想している。また、高齢者の増加に伴い、労働需要の高まっている「医療、福祉」についても、就業者数の増加が見込まれる。

雇用・所得概況

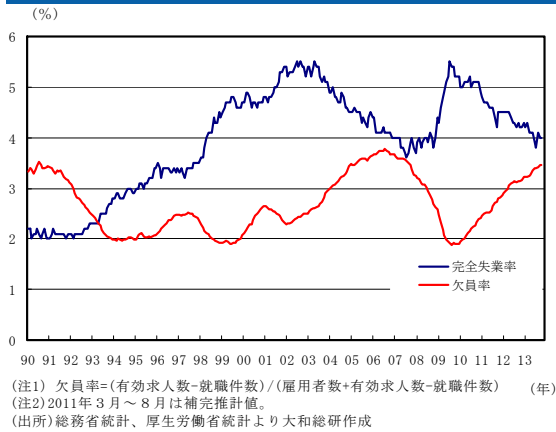
世代別完全失業率



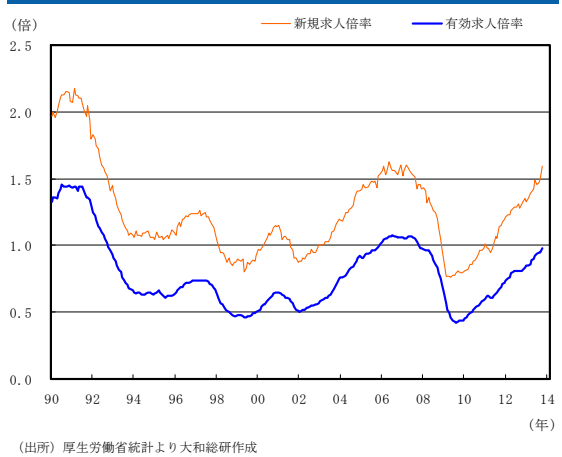
求職理由別失業者数



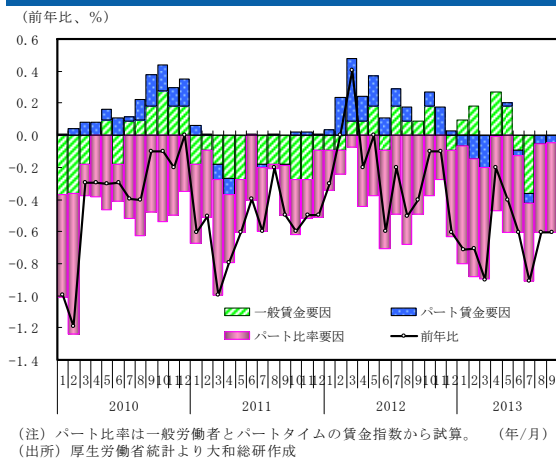
完全失業率と欠員率



有効求人倍率と新規求人倍率



所定内給与の要因分解 (5人以上、全規模)



所定内給与の推移 (5人以上、全規模)

